

## 銀座街づくり会議

http://www.ginza-machidukuri.jp

〒104-0061 中央区 銀座4-6-1 銀座三和ビル3F

Tel: 03.3567.1535 / Fax: 03.3563.0236 / E-mail: info@ginza-machidukuri.jp

\*メール配信をご希望の方はお知らせください\*このNewsLetterは、全銀座会会員、銀座街づくり会議関係者の方々にお送りしています\*本誌の内容を、許可なく無断で複写・複製および転用・転載することを禁じます\*

東京都都市整備局は2014年度より、都心と臨海部を結ぶBRTについての基本方針の検討をはじめ、2015年度に事業者として京成バス株式会社を選定しました。そし

て両者はこの4月1日、「都心と臨海副都心とを結ぶBRTに関する事業計画（案）」を発表しました。（BRTとはBus Rapid Transitの略。バス高速輸送システムのこと。）

## 「銀座にBRTを」その後…

「都心と臨海副都心とを結ぶBRTに関する事業計画（案）」では、2019年に豊洲から晴海を經由し、環状2号線を通って新橋に至る2系統の運行、および環状2号線の開通と選手村の再開発にしたがって、系統が増やされていくことが示されています。環状2号線ルート为主線とし、銀座への枝線は、「今後検討」とされています。

これまでもお知らせしているように銀座では、2013年より交通勉強会をおこない、2015年には銀座の交通ランドデザインを発表し、東京都に対して2回にわたり、銀座にBRTを誘致する要望書を提出いたしました。

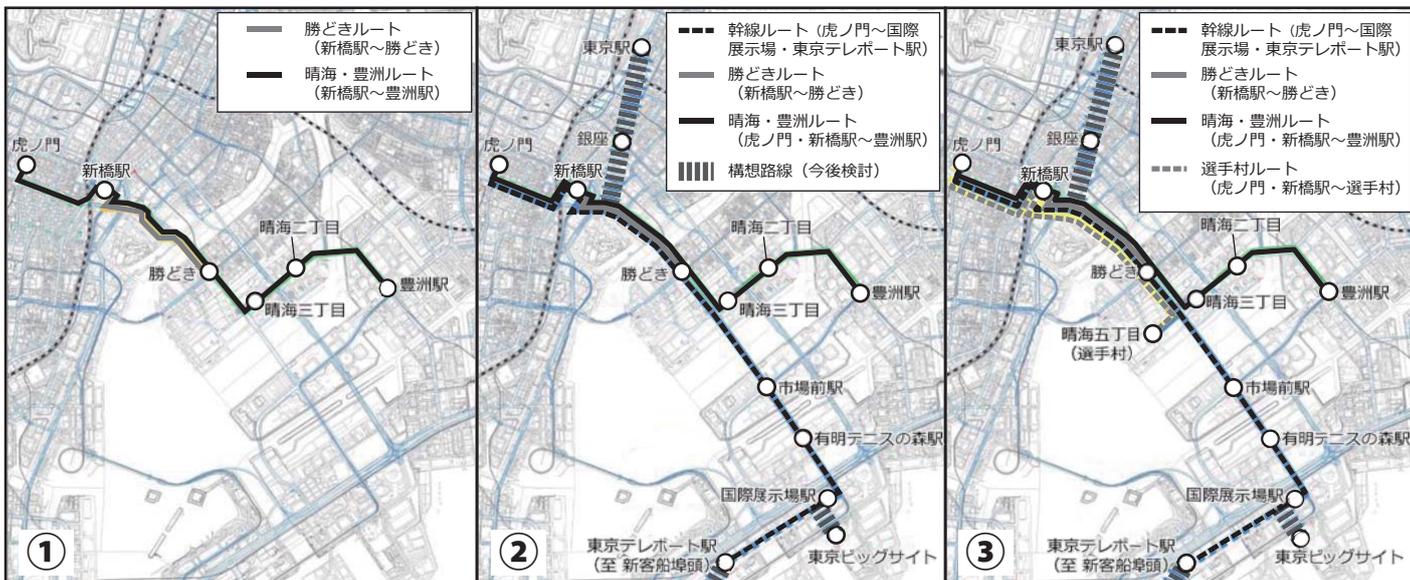
銀座では、銀座ににぎわいを運び、お客さまがゆったりと銀座の街を楽しんでいただきながら、東京駅につながる交通としてのBRTの誘致を希望していますが、東京駅前の停留施設の開発が、オリンピック前に間に合わないことがわかりました。起終点は

停車場が無いと警察から運行許可が出ないため、オリンピック開催までに銀座にBRTが開通するかどうかは難しいとのことでした。

銀座街づくり会議では、正式な開通が無理でも、例えばオリンピック・パラリンピック開催時に、最新の技術とすばらしいデザインのBRTが、銀座の街をデモンストレーション走行し、選手たちがそれに乗って銀座にやってくるようなことが実現できるよう、東京都に働きかけています。

### 地下鉄新線について

銀座を經由し、臨海部と東京を結ぶ地下鉄新線の計画が、国交省の交通政策審議会の答申に盛り込まれました。答申は、銀座を通る新線の計画を含めて、2030年を目途に東京を中心として整備される8案がまとめられています。



左図から順に、「①2019年運行開始時」「②2020年オリンピック後」「③選手村の再開発後」のBRTルート計画。（東京都都市整備局資料を基に作成）。